

会 期 開催中 - 5月25日(日)
会 場 本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室
開館時間 午前9時～午後4時30分
休 館 日 月曜日(休日の場合は翌日) 入 館 料 無料

古代エジプト の棺と埋葬

その来世観とは？

2025 1/28 火 - 5/25 日

開館時間: 午前9時～午後4時30分

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

会場: 本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室

主催: 早稲田大学文化創造推進委員会
協賛: 一般財団法人日本エジプト学協会
実行: 早稲田大学エジプト考古学研究所
株式会社アプト

本庄早稲田の杜ミュージアム
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM

WASEDA University



エジプト文明の特徴は、埋葬にあります。かの有名なツタンカーメンの墓では、ミイラが四重の棺に入れられ、数多くの副葬品とともに埋葬されました。こうした華やかな埋葬は、ファラオの権威を誇示するためだけではありません。そこには、古代エジプトの死生観が反映されているのです。

吉村作治氏を中心に結成された早稲田大学エジプト調査隊は、1971(昭和46)年、最初の調査権をエジプト政府から取得し、マルカタ南遺跡の発掘を開始しました。そこでは、新王国時代のファラオ・アメンヘテプ3世の儀礼用彩色階段が発見されましたが、その周囲から、後の時代の棺も多く見つかりました。またその後、ダハシュール北遺跡では、未盗掘墓が見つかり、彩色木棺や青いミイラマスクなどの大発見がありました。本展覧会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプトの棺と埋葬そして死生観について紹介します。

古代エジプト の棺と埋葬

早稲田大学展示室
企画展



▲セヌウのミイラマスク
(レプリカ展示)

エジプト発掘 最新報告

特別講演会

早稲田大学にエジプト研究を根付かせ発展させてきた吉村作治先生。講演会では、2023年に開始したギザ台地西部墓地の発掘調査について、その最新情報とクフ王ピラミッドとの関わりについてお話いただけます。また、展示中の陶棺が発見されたマルカタ南遺跡の発掘エピソードを対話形式でお伺いします。

日 時 令和7年5月17日(土) 13:30～15:00
会 場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1
定 員 100名(事前申込制) 受講料 無料

受講を希望する方は「申込にあたっての留意事項」をご確認のうえ、
①～③いずれかの方法で申し込んでください。

申込期限 3月31日(月)

- 1 受講申込専用フォーム [受講申込専用フォーム▶](#)
 - 2 本庄早稲田の杜ミュージアム来館 ※開館時間中のみ受付
 - 3 郵送 ※当日消印有効 ※同伴者がいる場合は2名分記載すること
- 記載事項 (1) 受講者氏名 (2) 住所 (3) 電話番号
郵送先 〒367-0035 本庄市西富田1011 本庄早稲田の杜ミュージアム宛



申込にあたっての留意事項

- (1) 1つの申込みに対して2名まで申し込みが可能です。同伴者がいる場合は必ず一緒に申込みください。
- (2) 当選者のみに通知します。通知は4月下旬を予定しています。
- (3) 当選の権利を第三者に譲渡することはできません。
- (4) 当日は報道関係の取材及び写真撮影が入ることがありますが、講演会への来場をもって同意とみなすことをご了承のうえ、申込みください。
- (5) 電話での申込みはできません。



プロカメラマンが
馬形埴輪を撮影しながら
撮影の基本テクニックを教えます

開催日時
3月21日(金)
午後2時～3時30分
3月22日(土)
午前10時～11時30分

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
講師 黒澤 拓朗氏
対象 どなたでも 定員 各5名(先着順)
費用 無料
用意 カメラ ※デジタル一眼カメラが望ましい
申込方法 3月12日(水) 午前9時からいずれかの方法で申し込み
①電話 0495-71-6878
②本庄早稲田の杜ミュージアム窓口



世界に
ひとつだけの
オリジナル
勾玉づくり

かつて
滑石という石を
紙やすりで削って
勾玉をつくります

白色の勾玉は蛍光ペンで
色付けができるよ!

天然の石材なのでひとつずつ
色や模様が違うよ!
石材選びもお楽しみに!

開催日 3月29日(土)・30日(日)
開催時間 午前10時～午後2時～
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
対象 どなたでも 定員 各10名(先着順)
費用 白色200円 ピンク・黒(灰)色350円
申込方法 3月16日(日) 午前9時からいずれかの方法で申し込み
①電話 0495-71-6878
②本庄早稲田の杜ミュージアム窓口

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展
第5回本庄早稲田の杜地域連携展覧会

古代の 見玉・深谷地域 関連イベント情報

申込不要 | 参加無料

ギャラリートーク
& チェキ撮影会開催日

開催時間 ギャラリートーク ① 10:00～10:30 ② 14:00～14:30
チェキ撮影会 ① 11:00～11:30 ② 15:00～15:30

チェキ撮影会には各団体のマスコット(キャラクター)が参加予定です。
事前申込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

※チェキは、富士フィルム㈱の登録商標です。

日	月	火	水	木	金	土
3/9	10	11	12	13	14	15
	休館日					
16	17	18	19	20	21	22
	休館日					
23						

各回 20名
当日先着順



飛鳥時代後半(7世紀後半)から奈良時代(8世紀)にかけて、律令制の定着とともに見玉・深谷地域でも地方行政組織の整備が進み、幡羅官衙遺跡群(深谷市)や中宿・岡・熊野遺跡(深谷市)からなる榛沢郡家、製鉄関連の炭窯が検出された皂樹原遺跡(神川町)、地域の有力者により造営された私寺と考えられる五明廃寺(上里町)、大仏廃寺(美里町)、大久保山遺跡ⅢA・ⅢC地区(本庄市)など、古墳時代までとは大きく性格の異なる遺跡が各地に出現します。本展ではこれらの遺跡を紹介するとともに、代表的な出土遺物を展示します。

会期 開催中 - 3月23日(日)
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
2階 情報資料室
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)
入館料 無料

本庄市見玉町八幡山に位置する雉岡城跡。かつて戦国時代初期に関東菅領山内上杉氏により築かれました。今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。現在は、「城山公園」と呼ばれ、市民の大切な憩いの場として親しまれています。当時の城の様子は記録が少なく、その歴史はまだ解明されていない点も多くある雉岡城ですが、令和6年12月より、本庄市初となる本格的な発掘調査がスタートしました。今回の展示では、発掘の様子や最新情報をパネルで紹介いたします。

会期 開催中 - 4月13日(日)
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム交流ひろば
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)
入館料 無料

ご来館時の注意事項

本庄市マスコット「はにぼん」のモデルとなった盾持人物埴輪1点は、1月21日から九州国立博物館で開催される特別展「はにわ」出展のため、6月(展示再開日未定)まで見学できません。

本庄早稲田の杜
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
ミュージアム

所在地 本庄市西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター(早稲田大学93号館)1階
開館時間 午前9時～午後4時30分 入館料 無料
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/3)
問合せ ☎ 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 ✉ hwmm@city.honjo.lg.jp



本庄早稲田の杜
ミュージアム HP